



NEEDS 第2号



一段と日が暮れるのが早くなり、寒さを感じる今日この頃です。今年度は、新型コロナウイルスの影響で、学校では、体育祭、文化祭も簡略化されました。

そんな中、高等部では、10月に卒業後の福祉サービス利用のための申請が行われ、3年生の卒業後の進路先も決まっています。

朝晩は冷え込み、かぜをひきやすい季節ですので、体調管理には十分お気をつけください。

本号では、小学部、中学部、高等部それぞれの取組についてご紹介したいと思います。

小学部の取組



しっかり報告!ショートジョブ!

小学部は、「ショートジョブ」での取組を紹介します。「ショートジョブ」は、小・中学部の児童生徒を対象とし、「ショートジョブ会員」となることで高等部作業学習の体験ができる活動です。



小学部では、現在6名の児童がショートジョブ会員として1~2ヵ月に1回程度、高等部委託作業班と同じ場所で作業の見学や体験を行ったり、毎週金曜日の5校時に、作業学習の練習をしたりしています。

作業は「牛乳パック作業(切る, 数える, まとめる)」「ベルマーク切り」等を主に練習しています。作業スキルの向上もねらいとしていますが、小学部では、「挨拶」「報告」「支援要求」等のコミュニケーションスキルに重点をおいて学習に取り組んでいます。そのために、作業中に必要になる言葉遣いの練習を行いながら、自ら伝えることができるようにしています。

最初の頃は、作業ができた時の報告や、支援要求をすることが難しく、声を掛けてもらうまで待っている場面も見られましたが、継続して練習することで自分から伝えることができるようになってきています。

作業後には毎回「ふりかえりシート」を用いて、その日何をいくつかしたのか、正しい言葉遣いで作業ができたかを自己評価をして振り返ります。次回の授業開始時に評価を確認してから学習に取り組むことで、前回できなかったことを意識しながら学習に取り組むことができるようにしています。



中学部の取組



《施設見学》

中学部では、高等部でのショートジョブ体験に加えて、毎年3年生の希望生徒及び全学年の保護者を対象に、高等部卒業後の進路に対する意識を高め、役立てることを目的として施設見学を実施しています。

施設見学では、設備や利用者の様子を見学し、職員の方から説明をうかがっています。それぞれの施設について詳しく知ることができ、今後の進路選択に向け大変良い機会になっています。しかし、今年度は残念ながら、新型コロナウイルス感染症予防のため、施設見学は中止となりました。今号では、過去2年間の施設見学の紹介をします。

社会福祉法人徳島県身体障害者連 合会 障がい者支援施設 眉山園 眉山園デイセンター 社会就労センター かもな	生活介護 生活介護 就労継続支援B型
社会福祉法人カリヨン れもん スタジオれもん	生活介護 生活介護 就労継続支援B型
社会福祉法人アンドラー GJCセンターかのん	生活介護 就労継続支援B型 就労移行支援
障害者支援センター 有誠園	生活介護(通所事業) 施設入所支援



眉山園



かのん

＜参加者のアンケート（ご感想・ご意見）一部抜粋＞

- ・とても参考になった。
- ・詳しく説明してくれてとても分かりやすかった。
- ・見学を通じてあらためて家族で将来のことを話すきっかけとなった。
- ・企業に就職するルートも知りたい。
- ・作業の平均工賃や事業所のコンセプトや展望についての話が聞きたい。
- ・利用者の方の活動風景やスタッフの方のお話が聞けて良かったです。
- ・初めて施設見学に参加しました。すごく良かったです。
- ・高等部を卒業したらどのように仕事を頑張っているのかが分かった。
- ・利用者の方の具体的なスケジュールや、施設と利用者、その家族との関わり方について知りたいです。
- ・食べ物に関係する作業のある施設を見学してみたい。
- ・(高等部に進学後) 実習などに参加して、就労につなげられたらと思います。



れもん



有誠園

高等部の取組

高等部で行われた取組や行事についてお伝えします。

アビリンピック

9月19日(土)、アビリンピック徳島大会2020が行われました。アビリンピックは、日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障がいのある方々に対する理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的として開催しています。「アビリンピック」(ABILYMPICS)は、「アビリティ」(ABILITY)と「オリンピック」(OLYMPICS)を合わせたものです。本校から、1名が表計算部門(Excel2016)、3名がビルクリーニング部門(弾性床清掃)に参加しました。今年度は、感染症拡大防止のため無観客による開催でしたが、参加した生徒たちは、それぞれの種目で日頃の練習の成果を発揮することができました。表計算部門では金賞を、ビルクリーニング部門では銀賞、努力賞をそれぞれ受賞しました。



参加した生徒の感想

- ・ 難しい問題が多かったですが、今後の成長にもつながると思っています。
- ・ 練習の時はあまりよくなかったけれど、本番は落ち着いてできたと思います。銀賞を取れてとても嬉しかったです。次は金賞が取れるように頑張りたいです。
- ・ 初めての出場だったのでドキドキしました。練習の時はミスなくできましたが本番は緊張し少しミスをしてしまいました。でも、最後まで頑張ることができたので自信を持つことができました。
- ・ 初めて参加したのでドキドキしてしまい少しミスをしてしまいました。良い経験になったので、これからはミスのない作業をしていきたいです。

施設・事業所説明会

10月23日(金)、今年度は次の5施設・事業所に参加していただき、事業内容や卒業生の様子などをお話しいただきました。

①	クローバー (B型) : 板野郡藍住町
②	株式会社チームカネイ (A型) : 鳴門市大麻町
③	れもん (全体・今年度新規事業等説明) : 名西郡石井町
④	とおりゃんせ2 (生活介護) : 名西郡石井町
⑤	ゆいたび (B型) : 吉野川市鴨島町

高等部では上記の他に、保護者を対象に施設申請前研修(9月)を行いました。

見学や説明をお聞きしたい施設・事業所がありましたら、担任もしくは進路担当にお伝えください。

令和2年度とくしま特別支援学校技能検定

今年度も、「特別支援学校の生徒が学習の成果について認定を受けることにより、生徒の就労に向けた意欲や自信及び技能や態度の向上を図る」ことを目的とした技能検定が実施されました。本校生徒は、これまで参加してきたビルメンテナンス部門、接客部門、ICT部門に加え、介護部門の受検にも挑戦しました。

これらの検定では身だしなみや態度、声の大きさ、作業スキル、道具等の正しい使い方、制限時間等において評価されます。

練習を重ね、多くの生徒が級を取得しました。受検を希望していない生徒についても、進路先等で役に立つことがたくさんあるので、練習に参加しています

介護の練習の様子



作業学習

高等部では、火曜日と木曜日に作業学習を行っています。今回は木曜日の作業を紹介します。

【ハンドメイド班】

古着を回収し、その布をリメイクしてリースやコースージュを作っています。布を切る作業、結ぶ作業を分担して作品を作っています。コースージュは卒業式するとき、高等部生徒の制服に付ける予定です。



【エコスマイル班】

新聞紙でペーパーログを作っています。薪代わりの燃料として利用します。新聞紙を水でふやかし圧縮し加工しています。生徒たちは新聞紙を細かくちぎってたくさん材料を作っています。



【紙工班】

紙パックを再利用し、封筒やポチ袋、はがき、メモ帳などを作っています。パック切り、ちぎり、ミキサーかけ、紙すき等役割を分担して作業をしています。かわいい作品がたくさんできています。



【木工・園芸班】

木工では、杉の木で小箱の製作をしています。組み立てや研磨等丁寧に行い作品を完成させています。

園芸では、季節の野菜や花の栽培をしています。土作りから種まき、苗植え、管理、収穫とみんなで協力して取り組んでいます。

